

1 社会・治安情勢

当国では在留邦人が多数居住するルサカ市を取り囲むようにコンパウンド（貧困層地区）が存在し、儀式殺人事件などの凶悪犯罪が発生しやすい傾向にある。貧困率は依然として高く、特に首都ルサカ市、南部州リビングストーン市観光地区、コッパーベルト州の主要都市等を中心に失業者やエイズ孤児等が溢れており、近年ではザンビア政府が行った断水措置の影響もあり、一部地域においてコレラが流行する事態が発生した。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（１）在留邦人が多数居住し比較的安全とされているルサカ市においても銃器を使用した複数犯による住居侵入強盗、車両強盗、路上強盗が断続的に発生しており、特に、夕方から深夜にかけての犯行が多い傾向である。日中であっても人の集まる所では、スリや置き引きなどが発生しており、最近では偽札を使用した犯罪や、使用人や自宅を警備している警備員が共謀し、留守になった自宅で窃盗を行う事案が多くなってきている。

（２）邦人被害事案

ア ４月７日、在留邦人宅に賊が侵入した。事件当時、在留邦人は外出中であり、賊は住居内の侵入警報装置の作動に驚き、侵入を断念した。在留邦人自身には被害はなかった。賊は事件発生時に住居敷地内を警備している警備員であった。

イ ４月１２日、ウッドランド・エリアの在留邦人宅に賊が侵入。被害は住居のグリルド・ドアと扉のみであった。事件当時、在留邦人は不在で、在留邦人自身に怪我はなかった。

ウ ４月２８日、チパタにおいて、在留邦人宅に賊が侵入。賊はテレビ、HD２台、ケーブルを盗んで逃走。事件当時、在留邦人は留守であったため、在留邦人自身に怪我は無かった。

エ 東部州ルンダジにて在留邦人がタクシー乗り合い所でタクシーを探している際、肩にかけているバックから旅券を盗まれる事案が発生。在留邦人に怪我は無かった。

（３）邦人以外の被害事案

ア ４月４日、東部州においてタクシー運転手が殺害された。犯人は捕まっていない。遺体には数カ所に切り傷があった。

イ ５月２８日、南部州のチョマにて２名の女性がギャングにレイプされ、住居が壊される事案が発生。警察が注意を喚起を行ったが、チョマには数名の在留邦人が滞在している。

ウ ６月２０日、中央州ムンブワにて２名の中国人が殺害された。殺害したのは殺害された２名の中国人に雇用されている従業員であった。事件には斧と鉄パイプが使用された。

3 テロ・爆弾事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

5 日本企業の安全に関する諸問題

問題とされる情報に接していない。